

東京都「EV 充電器設置需要マップ」に ゼンリンの地理空間情報と分析ノウハウを提供 ～EV 充電スタンド数の増加促進で、EV 普及への貢献を目指す～

株式会社ゼンリン（本社：福岡県北九州市、代表取締役社長：竹川道郎、以下ゼンリン）は、東京都が運営する「東京都EV充電器総合ポータル（事業者向け）」内の推奨コンテンツ「EV 充電器設置需要マップ」に、ゼンリンが保有する地理空間情報と、EV 充電スタンドの設置場所を検討する分析ノウハウを提供しました。

■参考：「EV 充電器設置需要マップ」：https://www.evcharger-support.metro.tokyo.lg.jp/evcharger_map/

■「EV 充電器設置需要マップ」概要

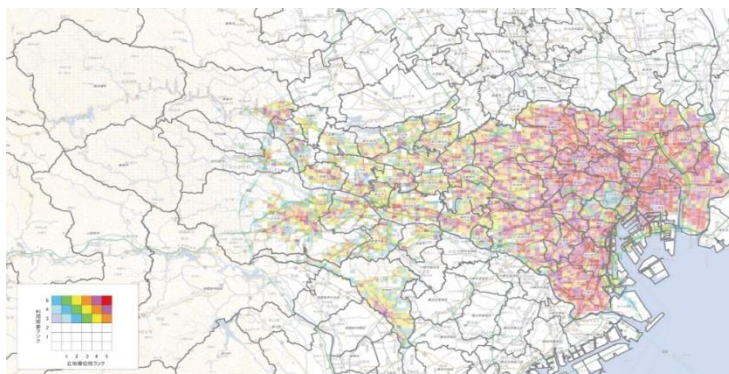
ゼンリンは、全国の EV 充電スタンドデータや各種統計データをもとに、EV 充電スタンドの最適な設置場所を提案する「EV チャージ需要マップ」（パナソニック株式会社との共同開発）を提供しています。この度、東京都が本サービスの仕組みをベースに「EV 充電器設置需要マップ」を開発し、「東京都 EV 充電器総合ポータル（事業者向け）」にて公開中です。充電器の需要状況が 500m メッシュで色分けされており、充電器を設置しようとしている事業者が設置場所を検討する際に、需要が高いエリアを確認することができます。

参考①：パナソニック HD とゼンリンが電気自動車(EV)を活用した エネルギーマネジメントの共同開発に着手（2023/9/8 発表）

<https://www.zenrin.co.jp/information/public/230908.html>

参考②：ゼンリンとパナソニックの共同開発「EV チャージ需要マップ」サービスサイト

<https://www.zenrin.co.jp/product/category/automotive/electric/ev-demand-map.html>



画像出典：東京都 EV 充電器総合ポータル（事業者向け） https://www.evcharger-support.metro.tokyo.lg.jp/evcharger_map/

■ゼンリン EV 特設サイトにて特別記事を公開中

東京都、パナソニック株式会社、ゼンリンの 3 者の EV 事業担当者が、本取り組みをはじめとする東京都の EV 普及への取り組み、カーボンニュートラルに向けた展望を語る記事コンテンツを、ゼンリン EV 特設サイトにて公開中です。 <https://www.zenrin.co.jp/product/casestudy/example/mobility/ev-infrastructure/tokyo-map/index.html>

■今後の展望

今後もゼンリンは高度なモビリティ社会の実現に向けて、保有する地理空間情報を最大限に活用することにより、EV 普及や防災、交通、都市計画などの様々な地域課題解決に貢献するソリューションを展開し、持続可能な社会づくりに貢献していきます。